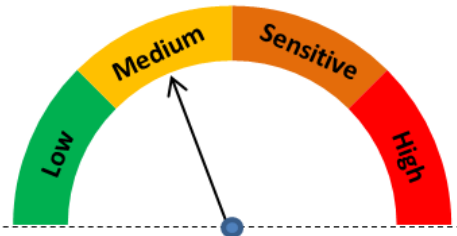


ユーラーヘルメス とともに、 安全かつ攻めの 事業拡大を

自動車セクター
Vol.1 2017 Nov

自動車セクター概況

グローバル 自動車セクターリスク(格付)



日本の主な輸出市場

	セクター格付		カントリー格付/分析		
	セクターリスク	DSO (*) 平均:69日	EHカントリー レーティング	倒産・不払い 予測 2017	債権回収の複雑さ
中国	●	111日	B2	+19%	極めて複雑 かつ困難
アメリカ	●	53日	AA1	+0%	複雑
日本	●	65日	A1	+0%	やや複雑
ドイツ	●	63日	AA1	-5%	標準的

(*) DSO: 売掛債権回転期間

5秒でわかる日本の自動車業界

- (1) 新車登録台数が5百万台規模となる日本の自動車市場は、2017年度は+2.0%、2018年度は減速して+0.2%の成長が見込まれています。
- (2) 日本の自動車メーカーは、世界で最も高い8%の営業利益率を誇っています。
- (3) 次世代自動車(*)シェアは急上昇し、2016年には、新車登録台数の35%を占めました。しかしEVだけをみると0.5%と、それ程のインパクトはありません。今後も穏やかな伸びが予想されます。

(*) 日本における次世代自動車: ハイブリッド車、プラグイン式ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車、クリーンディーゼル車

国別 自動車セクター リスク(格付)

アメリカ、カナダ、メキシコ、
フランス、ドイツ、スペイン、
オーストリア、ポーランド、
チェコ、ハンガリー、
スロバキア、モロッコ、日本、
中国、フィリピン、韓国

コロンビア、ペルー、
グアテマラ、イタリア、
イギリス、スウェーデン、
ベルギー、ギリシャ、
フィンランド、ポルトガル、ルコ、
ルーマニア、スロベニア、
リトアニア、ラトビア、
チュニジア、イラン、インド、
インドネシア、マレーシア、
タイ、台湾、ベトナム

ブラジル、サウジアラビア、
オーストラリア

アルゼンチン、エクアドル、
ロシア

As of 2017 Q2

2017年度および2018年度の業界見通し

+2.1%

2017年度
グローバル
売上成長率

売上予想

世界の自動車販売台数は、中国およびインドでの販売の増加により、2017年度は9,580万台（前年度比2.1%増）、2018年度は9,820万台（同2.5%増）になると予想されます。

自動車市場は、2019年度には販売台数が1億台の大きさに達する見込みです。しかし、2016年度と比較すると、米国および英国での販売減少により、売上成長率は低下しています。

2016年度比で売上成長率が低下する理由は、以下の3つです。

- (1) 主要市場における、販売奨励金の減額に伴う新車購入価格アップ
- (2) 米国、英国、および中国の中古車市場の活況
- (3) 電気自動車の成長が世界の自動車販売の増加に与える影響については、不確定要素があること

トップ8ヶ国

グローバル市場の70%を席巻

売上高成長率 予測 (%)	2017	2018
中国 ↑	+2%	+3.2%
アメリカ ↓	-2.5%	-1.8%
日本 ↑	+1.6%	+0.2%
インド ↑	+10.7%	+13.5%
ドイツ ↑	+2.2%	+1.7%
イギリス ↓	-5%	-6%
フランス ↑	+3%	+2%
イタリア ↑	+7%	+5%

電気自動車 (EV)

世界市場に占める電気自動車の売上シェアはいまだ低位ではありますが、普及にむけたスピード感、国によって違いがあります。電気自動車の年間登録台数は、2017年度は58%増、2018年度は41%増となる見込みです。

売上拡大の最大の牽引役は、中国（2017年度は80%増）・米国・英国・フランス・ドイツです。2017年末までには、中国および米国が世界の電気自動車販売の3分の2以上を占めると予想されます。

電気自動車の普及率増加と販売奨励金には、強い相関がみとれます。とりわけ、中国の助成金レート(23%)が最も高く、中国の電気自動車市場はこの5年間でどの国よりも急成長を遂げています。よって、「電気自動車の普及」というテーマにおける最大の短期的リスクは、中国における販売奨励金の突然打ち切りと推察されます。電気自動車販売が過度に急増した場合、販売奨励金は政府財政出動の大きな足かせとなり得る要素を孕み、十分に留意すべきリスクと言えます。

+58%

2017年度の
電気自動車
売上成長率
(うち中国が
51%)

イノベーションの重要性: 市場シェア確保のための 3要素

今後、市場シェアを確保するうえで、業界各社に求められる能力は、以下の3要素と予測します。

- (1) 研究開発費 (2) 特許性のある技術を生み出す能力 (3) ICT関連の企業の合併・買収 (M&A)、および戦略的パートナーシップ

(1) 2015年度に自動車業界では合計約13兆円が研究開発費に投じられました。これは、製薬業界・ハードウェア・テクノロジー業界に次ぎ3番目に高額です。

今のところ、欧州連合 (EU) が世界最大の投資家 (世界の合計額の47%) ですが、研究開発費の増加が最も著しいのは、アジアです。

(2) 自動車産業界は、コネクテッドカーおよび自動運転技術の分野において、既存業界プレーヤー以外の、新たな挑戦者 (例えばグーグル) との競争に直面しています。伝統的な自動車メーカーは、ソフトウェア分野への投資を一定水準維持し、技術イノベーターや新興企業との戦略的パートナーシップを模索・構築する必要に迫られています。

(3) 100万米ドル超の情報通信技術 (ICT) 関連の M&A 合計取引件数は、2012年以降5倍に増加しています。平均取引規模は175%増加し、2017年8月時点で83億円となりました。

とりわけ、中国の自動車メーカーが群を抜いており、2012年度から2017年度の間、ICT関連の買収に62億米ドルを投じています。

シェア確保の
ための3要素
(1) R&D
(2) 特許性
のある技術
(3) ICT関連
のM&A

当社エコノミストによるレポート
(英語) を
ご覧頂けます



Automotive
report



Automotive
World Race
infographic



Automotive
report - China



Automotive
report - Japan



Automotive
report - US

貴社の最大の取引先は、最も安全な買い手… ですね？本当にそう言い切れるでしょうか？

>50%

当社が受ける
限度額申請の
うち、5年以上
の取引関係が
ある割合

大企業や上場企業、または長年にわたる取引関係のある買い手は、安全な取引先と考えられています。このような取引先に対してはあまり警戒せずに、売掛取引(信用供与)を行っており、取引額増加にあたっては、社内のチェックは緩くなるケースが一般的でしょう。

しかし実際は、取引先の企業規模や知名度に関わらず、あらゆる企業は、取引先の支払不能、つまり自社の売掛債権焦げ付き、いう事態に直面する可能性があります。

2017年第2四半期のアジア太平洋地域における最大のデフォルト事例は、自動車業界で発生しました。

2017年第2四半期 アジア太平洋地域における、デフォルト企業TOP5

デフォルト発生	国	企業名	直近売上高 (百万円)	事業内容
2017年6月	日本	タカタ株式会社	662,520	エアバック・シートベルト・チャイルドシート等自動車用安全部品の製造・販売
2017年1月	中国	Liaoning Huishan Dairy Group Co., Ltd.	73,440	乳製品、日糧食品・飲料製造
2017年1月	中国	Shandong Tansins Group Co., Ltd	62,160	非鉄金属及び加工品製造・販売
2017年6月	オーストラリア	Network Ten P/L	55,440	放送事業
2017年5月	中国	Shandong Xinze Copper Co., Ltd.	31,200	非鉄・銅原料及び加工品製造・販売

100%?

審査のプロの
目から見た、
貴社お取引先
の引受率は？



ユーラーヘルメスが 選ばれている理由

- 世界の取引信用保険市場で、**34%**のトップシェア
- **110**年以上にわたって取引信用保険のリーダーであり続けています
- **S&P格付 AA**を取得
- **世界最大級の損害保険会社、リアンツグループの一員**
- **1,700**件一週間に受け付ける保険事故件数
- **世界GDPの92%**を網羅する企業データベースを保有・モニタリング

(2017年12月現在)

ユーラーヘルメスは、お客様を貸倒リスクから守ります

迅速な査定プロセス

ユーラーヘルメスの取引信用保険は、売掛債権が債務不履行となった場合、保険金のお支払によって、貴社の損失を補償します。当社が売掛債権に関する書類を受領してから早ければ30日で、お客様の損失を補償します(*)。

(*) 法的倒産の場合

国際的な債権回収ネットワーク

当社がお客様の損失を補償するとしても、最善の解決策は、貴社のお取引先が支払を実行することです。ユーラーヘルメスは、国際的な債権回収サービスをご提供しています。

債務者との最初の友好的な接触から訴訟手続までのプロセスを一貫して取扱うことが可能であり、貴社の債権回収をお手伝いします(*)。

(*) 海外のお取引先に対してのサービスご提供となります。日本の債権者に関しては、法的に許容される範囲に限定されます。

取引先の信用力をモニタリング

貴社のお取引先は、例えばその販売先の倒産・為替変動・規制強化、或いは新規参入者によるビジネスモデルの陳腐化・急激な市場縮小など、経営を揺るがすインパクトに見舞われる可能性があります。

こうした要因が具現化すれば、貴社が抱える売掛債権は、焦げ付きリスクに晒されてしまいます。当社が危険信号を発見した場合は、即座に対応致します。

与信条件に関する賢明な判断

ユーラーヘルメスがご提供する与信判断やリスク情報をもとに、お取引候補先との契約条件締結前に、再交渉も可能になります。ユーラーヘルメスは、いつでも、貴社の安心かつ攻めの事業拡大をたすけるパートナーです。

3社まで 無料審査キャンペーン実施中！ぜひご利用下さい
WEBサイトで受付中 : <http://www.eulerhermes.co.jp>

支払振りの気になるお取引先について、或いは、新たに取引したいと考えているお取引先などに対して、どの程度の与信ができるか、3社まで無料審査受け付けております。

ぜひ、企業審査のプロの視点からのアドバイスをご活用頂ければと存じます。



**気になるお取引先3社まで、
WEBで無料診断受付中！**



ユーラーヘルメス信用保険会社 日本支店

お問合せはこちら:03-3538-2560

www.eulerhermes.jp



EULER HERMES

Our knowledge serving your success